



artcafe TOAST AND HONEY前にて(下総松崎駅徒歩30秒)

成田国際空港を囲む現代アートの森 アートと地域の共生を担うアート集団

本誌でも特集中の成田空港圏初の現代アート拠点「ふわりの森」。アーティストが仕掛ける話題の NARITA 初の現代アートプロジェクトは中核にアーティスト・イン・レジデンスプログラムを持ち、様々なアーティストがこの地に滞在し、制作、交流、発表を行いながら作品が広がっていく。アート作品を鑑賞するだけではなく、アーティストとの時間を共有できるのが特徴だ。エアプログラムでは「ルーツ」を軸にアーティストと子どもがタッグを組み、地域での記憶をアート作品にし未来に繋ぐ「記憶美術館」を制作(栄町)。空港圏での相次ぐ少子化による閉校に対し、未来に残る記憶のアート作品を創り出している。そして、現代アートを体感できるエリアとして成田空港から2駅、「下総松崎」にアートカフェ、空き家の日本家屋をリノベーションしたホテルプロジェクトを開き、これまでになかった空港から行けるアートエリアを創り出している。

2020年、空港圏に国内外のアーティストが集まり最新の作品を発表する空港都市国際芸術祭「ふわりの森 ART PARADE」開催に向けて、地域と共に確かな歩みを始めているアート集団にインタビューしてみた。ふわりの森とは? いま生まれているアートとは?

ふわりの森プロジェクト CREW に聞いた

- ① あなたにとって「ふわりの森」とは?
- ② 好きなアートは?



プロジェクトマネージメント アーティストインレジデンスプログラム

①可能性のある場所。国際空港や門前町が近く、東京からのアクセスも良いのに、田園と里山が広がり、自然が残る環境でアーティストと活動すると「何が生まれるだろう」と、その可能性を毎回ワクワクします。ふわりの森の活動はアーティストが作品を作るだけでなく、カフェを持ちたり、空き家を改装したり、イベントで地域の人達が自分で作った野菜や肉を提供してくれたりと、活動の全体を通じてアートしているのではないかなと思っています。②ジャンルに限らず、表れているものは一見、シンプルに見えても、人間の知覚や認識を揺さぶる作品や深い内省に迫る作品が好きです。



アーティストインレジデンスプログラム アーティストマネージメント

①ふわりの森でアーティストの方々や地域の皆さんと出会えたことが何よりの経験になっています。その出会いは盲目的になっていた自分の考え方や世界に色を与えてくれました。私も色を与える側になりたい。②元々絵画などの平面作品が好きでしたが、現在は一体化した空気を味わえるインスタレーション等にも興味を持っています。



アーティストインレジデンスプログラム アーティストサポート プログラム・イベントマネージメント

①アーティストに出会える場所。過疎化の進んだ地域にアーティストの制作風景が浮かび、アート作品が1つ1つ生まれていくのが「ふわりの森」の魅力だと思います。今までアートに触れる機会がなかった、地元の小中学生や年配の農家の方が、アーティストとの交流を求めてアートカフェや、改装した家屋を訪れて、アートと地域のコミュニティが自然に繋がっていくのを感じています。②現代建築、映画。鳥島や大島の家プロジェクト等、空き家展示スペースに再生した建築が好きです。「ふわりの森」でも古民家の改修を行っており、古いものを可能な限り残して、新しい価値を付け加えていく作業に興味を持っています。



アートカフェプロジェクトスタッフ artcafe TOAST AND HONEY

①繋ぐ場所。アートをきっかけに地域の人々、様々な想いがこの場所に集まり、日常にはないモノに沢山出会えるところです。②今までアートに強い関心はありませんでしたが、プロジェクトに参加してから様々なアーティストと作品、制作を間近で感じることができアートの力に魅了されています。



アーティスト制作サポート プロジェクトスタッフ

①「ふわりの森」は、新しい出会いと発見が生まれる温かい場所です。私はまだ学生で、アートについて学んでいる身ですが、学校では学べない、見つけられないものが「ふわりの森」では発見できると感じています。②アートは全部好きです! 空間的なアートが好きで、自分も作品の中に入れていけるような、自分も作品の一部になれるようなそんなアートが好きです。



PR・アーティストマネージメント プロジェクトスタッフ

①「ふわりの森」では国内・海外のアーティストの制作を間近で見たり、様々な方達との出会いやアーティストとの時間の共有を通して視野も広がりました。成田国際空港から間近な「ふわりの森」に参加してから海外との距離もとても近くなりました! ②アートはジャンル問わず好きです!



記憶美術館・プロジェクトスタッフ

①知ったきっかけは母校である酒直小の閉校の際、同校卒業生のアーティストであるシムラウさんが行っていたプロジェクト、SAKANAO139 記憶美術館。母校の閉校をただの悲しみという感情での終わりとするのではなく、新しく子どもたちの素敵な記憶として塗り替えるよう活動に興味を持ちました。大好きな地元を盛りあげ、子ども達の未来をすこしでも楽しみに感じられるお手伝いを少しでもできたら、また新たな可能性を感じ、私にとってわくわく、うきうき、安心できる場所です。②写真。その瞬間しか存在しない時を切り取ることができる、また新たな視点を持つことができるから好きです。



翻訳・国際プログラムスタッフ ARTSTAY maison FUWARI

①人と出会える場所。ふわりの森ではカフェ、ワークショップなどいつも人が集まっています。アートを通して人の輪が広がっていくのは素敵なことだと思います。私は将来的に留学したいのでその輪を海外まで広げていきたいです。②絵画や教会、寺院などの建築が好きです。その時代の背景や意味も含めてアートを見るのが好きなので美術館の仕事に興味があります。



アーティスト制作サポート プロジェクトスタッフ

①おばあちゃんの家に戻るとの交流があったり、国内外のアーティストの活動を通して身近にアートに触れ合える、猫も帰りたいような素敵な場所。②舞台、インスタレーション。作品の世界観が空間まで広がっていく感覚が好きだからです。



カフェプロジェクト 看板猫「ムンク」 artcafe TOAST AND HONEY

①2015年12月アートカフェがオープンした時に仲間になりました。その時に野良猫から飼猫になり今はみんなに甘えています。わくわくする場所です。②動く作品が気になります。そわそわします。



総合ディレクター・シムラウスケ アーティスト

①ランドアート、成田空港圏の現代アート拠点。最先端の夢が生まれていく場所。好きな場所。②写真、建築、インスタレーション。視点が生まれ空間に繋がる、常に新しい驚きが生まれることが好きです。



PROFILE

1981年生まれ。現代アートの新しい担い手として、写真、ドローイング、インタラクティブアートを国内外で発表し、国内2都市のアップルストアによるシムラウスケ特集、雑誌「TOKION」のニューヨーク特集、「装苑」の国内外で活躍する次世代の6人に取り上げられるなど様々なメディアから注目を集めるアーティスト。東京、ニューヨークを拠点に PORTER (吉田カバン) との「YUSUKE SHIMURA TOKYO NEWYORK supported by YOSHIDA&CO.」をはじめ、北欧、中東、アジアでの制作、作品を発表。2014年には海外に加え幼少期から育った国内(千葉県成田市・栄町)に拠点をもち、成田国際空港を中心に広がる大自然をフィールドに空港圏初の現代アートの拠点「ふわりの森アートプロジェクト」をスタートする。空港圏 NARITA 初の現代アート拠点「ふわりの森」のプロジェクトディレクター、SAKANAO139 記憶美術館、AIS 記憶美術館館長、2020年空港都市国際芸術祭「ふわりの森 ARTPARADE」の総合ディレクターを務める。 www.yusukeshimura.com

2020年芸術祭の開催に向けて仲間を募集

詳しくはカフェにてお声がけください

空港圏初のアートプロジェクトを共に作る

ボランティアスタッフからコアスタッフまで募集



artcafe TOAST AND HONEY (トーストアンドハニー)

千葉県成田市大竹295 TEL なし
【最寄り駅】JR成田線「下総松崎駅」より徒歩30秒
【OPEN】金～日・祝12:00～22:00(日・祝は20:00まで)
【CLOSE】月～木(祝日の場合は営業)

最新の現代アートに触れ、シムラウスケはじめアーティストに会えるカフェ

「TOAST AND HONEY」は毎週末(金、土、日、+祝日)オープン!

詳しい情報はHPにて
www.fuwarinomoriart.jp

|| NEXT! 次号 ロク 3月号 予告「ふわりの森が空港圏に広げる現代アート、JR成田線安食駅にアート作品が出現!」